

稲門やま

早稲田大学大和稲門会会報第 48 号

発行所 早稲田大学大和稲門会
 発行人 会長 宮崎 顕
 事務局長 小澤 重晴
 〒242-0007 大和市中央林間 2-16-35
 TEL・FAX 046-276-8841
 編集人 児浦義文、小澤重晴、村岡猛、加藤晴夫
 URL <https://yamato-tomonkai.com>

大和稲門会会員の皆さんへ

(会長宮崎 顕 S42 法学卒)



大和稲門会の皆さん、いつも会へのご協力・ご支援に感謝いたします。
 今年 5 月、コロナウィルス感染症の位置づけが「五類」となりました。アフターコロナとなり、この夏は慶応高校が 107 年ぶりに甲子園優勝し、また日本のバスケットチームが 48 年ぶりに自力でパリオリンピックへの出場を決めるなどめざましい活躍をみせております。
 そんな中、わが大和稲門会の活動もコロナ禍以前の活動に戻りつつあります。昨年の総会は対面で開催でき、会員も 12 名の新会員を迎えることができました。また 7 月には新会員の歓迎と会員相互の交流を図るべく「2023 夏季懇親会」を開催し、新会員の一人でもある古谷田大和市長にも出席いただきました。

さて私ごとですが、この度 10 年以上苦しんできた病に漸く開放されたことにふれさせてください。皆さんは「三叉神経痛」という病をご存じでしょうか。あまりの痛さで自殺する患者が多いところから、別名「自殺病」とよばれる病気です。

私は 10 年以上前から、この病に苦しんできました。はじめは歯痛くらいに思って、色々な歯医者・口腔外科・大学病院等に通いましたが改善せず、5 年ほど前に大和市立病院で MRI を撮り、原因は「三叉神経痛」らしいと判明しました。薬による養生をしてきましたが今年の春ごろより、我慢ができないほどの激痛がおこり、根治するには手術するしかないといわれました。

80 歳目前の私は、全身麻酔をかけ脳の手術をする事には抵抗もありました。家族総出で信頼できる医者探しを行い、ゴッドハンドと言われる脳外科の名医、米国で活躍する福島孝徳先生にコンタクトすることができました。手術は無事成功し、漸く三叉神経痛から解放されました。

この間、会員の皆様方にはご心配やご迷惑をおかけし申し訳なく存じます。これからは大和稲門会の発展のため、そして来年の県支部大会の成功に向けて頑張る所存ですので宜しくお願い致します。

事務局便り

事務局

◇会員数 72 名 (2023 年 9 月 20 現在)

◇2023 年 4 月～2023 年 9 月に行われた行事・イベントは次の通りです。

- 2023.04.01 「稲門やまと第 47 号」発行
- 2023.04.27 役員会開催 (学習センター・シリウス 6 F 会議室)
- 2023.05.09 春のハイキング「江の島散策」
- 2023.05.17 「早慶懇親コンペ」開催 (小田急藤沢 GC)
- 2023.05.27 大和サロン第 6 回例会開催 (東京六大学野球 春の早慶戦観戦)
- 2023.07.15 「2023 夏季懇親会」開催 (芳香園大和店)
- 2023.09.07 役員会開催 (学習センター・シリウス 6 F 会議室)
- 2023.09.19 大和サロン第 7 回例会開催 (図解技法の学習) (学習センター・シリウス 6 F 会議室)
- 2023.5 月～7 月 「2023 稲門祭」記念品販売 (12 名、62,000 円)

◇2023年10月以降に予定の行事・イベントは次のとおりです。

- 2023.10.01 「稲門やまと第48号」発行
- 2023.10.22 2023 早稲田大学ホームカミングデー&稲門祭開催
- 2023.10.27 役員会開催(学習センター・シリウス6F会議室)
- 2023.11.04 神奈川県支部大会参加(8名)(秦野商工会議所)
- 2023.11.25 大和稲門会定時総会・懇親会開催(レンブラントホテル東京町田)
- 2023.11月 秋のハイキング開催(日程未定)
- 2023.12.01 秋のコンペ開催(東名厚木CC)
- 2024.01.02 箱根駅伝沿道応援(藤沢稲門会沿道応援会場)

2023年度(第30回)大和稲門会定時総会・懇親会開催のお知らせ

2023年11月25日(土)、大和稲門会の総会・懇親会を次の通り開催致します。

場所：レンブラントホテル東京町田、7階宴会室(アンバー)
〒東京都町田市原町田3-2-9 TEL:042-724-3111(代)

1部 総会(16:00~16:40)

- ① 2022年度事業報告及び決算報告(監査報告)
- ② 2023年度予算(案)及び事業計画(案)審議
- ③ 新役員承認

2部 講演会、及び懇親会(16:50~19:00)

3年振りに来賓をご招待し、講演は甘利明代議士を予定しています。
懇親会の式次第は、挨拶、来賓紹介、会食、アトラクション、校歌斉唱などを予定しています。

「2023夏季懇親会」開催報告

開催日時：2023年7月15日 13:00~15:30

場所：中華料理 芳香園 大和市大和南1-55



講演する水野副会長

大和稲門会では表記日時に夏季懇親会を開催しました。今年度は新入会員が多数加入したことから、その歓迎を兼ねて開催しました。また4月の統一地方選挙で大和市長に当選された古谷田市長も当会の会員として多忙な中参加して下さいました。

定刻に司会役小澤事務局長の開会挨拶の後、宮崎会長より「暫く三叉神経痛で苦しんでいたが、手術で回復、これからは会務に復帰できるので宜しく」との挨拶がありました。

○水野副会長の「演劇の楽しみ方」と題してミニ講演

氏の演劇活動の系譜を披露された。小学校で演劇を始め、早稲田大学は演劇専修、劇団自由舞台で演劇活動に携わる。定年退職後は市民劇団「演劇やまと塾」を立ち上げ、早稲田演劇自由舞台で公演や朗読劇などにも出演されている。

「演劇は観客に観て喜んでいただくもの。役者は、そのための表現者として工夫、努力が必要です。観客は各自の好み、趣味、関心等により公演を選択し、楽しみ方は各自各様」との演劇論を披露された。



古谷田市長

○新入会員の自己紹介

眞鍋相談役の乾杯の音頭で会食開始。

先ず早稲田大学に在学中の古谷田市長より挨拶があり、教室での若い学友との会話や早慶戦への思い

などユーモアを交え語られた。当会の石川相談役からも古谷田市長に対して、「義の古谷田」とのお話があり、古谷田市長にまつわる感動的な話が披露された。

次に、新会員7名から自己紹介を兼ねた近況報告あり、各人の現状や趣味、特技、当会に対する期待等が述べられた。続いて、4月の選挙で大和州市議に復活当選された渡辺申明氏、元座間市長の遠藤三紀夫氏、オリンピアドを父に持ちスポーツ活動で活躍されている田中政弘氏から近況報告がありました。

最後に、校歌斉唱と関根副幹事長のエールで閉会しました。(文責：児浦)

<参加者>宮崎、石川、真鍋、水野、児浦、小澤、関根、渡辺、田中、加藤、遠藤(三)古谷田、座間、大竹、宮島、村田、佐々木、堀合、上原(以上19名)



参加者全員で記念写真

同好会活動報告

【2023年春のハイキング】の報告

今年の「春のハイキング」は、5月9日、五月晴れのもと江ノ島散策を行った。当日は下記の行程を散策しました。

弁財天仲見世通り⇒江ノ島神社(辺津宮)⇒江ノ島サムエル・コッキング苑(園内散策)⇒江ノ島シーキャンドル(大海原と富士の絶景を一望)⇒(御岩屋道通り)⇒稚児が淵⇒江ノ島岩屋(岩屋洞窟内見学)



サムエル・コッキング苑は、バラの花を觀賞しながら園内を散策。途中、「ロンカフエ」でコーヒブレイクし、眼下に広がるヨットハーバーや片瀬海岸の眺望を眺めながら会話も弾む。次に、江の島のシンボルでもあるシーキャンドル(展望灯台)に上り、三浦半島、遠くは富士山、そして紺碧の海の360度のパノラマ風景を堪能する。参加者から「これまで何度か江ノ島を訪れたが、今日はこれまでで最高」との声も出る。

次に、食事処『魚見亭』に立ち寄り、ビールで喉を潤し「江ノ島丼」をいただく。食後はこれ迄訪れる機会の少ない「江ノ島岩屋」に向かう。ハードのコースのため健脚の4人が岩屋コースに参加し、他の3人は江の島駅に戻り、駅前の喫茶店で4人と合流することにする。

「岩屋」は、波の浸食によってできた海蝕洞窟で、江ノ島神社発祥の地といわれ、弘法大師や日蓮上人が修業を積んだと言われる靈験あらたかの地である。

皆さん江ノ島ハイキングを堪能した様子でした。(文責：児浦)

<参加者>石川、村岡、小澤、渡辺、加藤、佐竹、児浦(以上7名)



2023 早慶懇親コンペ (第5回)」の報告

早慶懇親コンペは5年前に「ゴルフ早慶戦」の形式でスタートしました。3回目からは、勝負よりも親睦を主眼とした「懇親コンペ」と趣旨を変えています。

今年の懇親コンペは、5月17日(水)、絶好のゴルフ日和のもと小田急藤沢GCにて開催しました。三田会から4名、稲門会から8名、合計12名(3組)が参加、5回目ともなるとお互いに顔見知りの参加者が多く、和気合い合いの雰囲気ですべてを楽しみました。

プレー後は、大和稲門会の関根氏の司会で表彰式が行われ、成績発表やスピーチを通して親睦を深めることができました。(コンペ幹事：関根、小澤)



<成績> 優勝：片山 武蔵 (K) 2位：関根 実 (W) 3位：真鍋 藤正 (W)

<大和稲門会からの参加者>

石川公弘、真鍋藤正、渡辺伸明、関根実、橘川泰一、斎藤忠彦、榊原和雄、小澤重晴 (以上8名)

カラオケ同好会の活動報告

2023年4月以降カラオケ同好会は7月を除き毎月開催しています。

常連の皆様はほぼ毎月参加いただき、新しい曲にチャレンジする等楽しんでおります。

8,9月例会は各10名が参加、特に9月例会は35年卒の男女の同期生がデュエットで歌われる等多いに盛り上げていただきました。

大変楽しく気さくな会ですので暫らくお見えになっていない方、初めての方も見学を兼ねて是非ご参加ください。



○開催日：毎月第二水曜日 14:30~17:00

○場所：ダイニングカフェ&バー「ペメル」 ☎046-259-7760

小田急線南林間駅西口 1分ファミリーマート裏手 マツキヨ筋

○会費：2300円 ママの手料理とワンドリンク

○連絡先：世話人 児浦 090-9333-4479

「やまとサロン」の活動報告 (2023年4月~9)

第6回例会：早慶戦観戦 (5月27日)

5月の例会(第6回)は、会員からの希望で東京六大学野球早慶戦(1回戦)を観戦しました。

5月27日(土)、絶好の観戦日和のもと、参加者6名は神宮球場に参集しました。チケットは事前



にネットで予約、学生応援席にも近く、学生時代の青春を思い出しながら、学生応援と一緒に応援することができました。

試合は同点の 6 回、代打島川の 3 ランホームランが飛び出し、皆で肩を組み応援歌を歌い盛り上がりました。試合は早稲田が 5 対 3 で快勝、最高の気分のもと、帰路は外苑内のカフェに立ち寄り、祝杯を挙げました。「また来たいね」とのリクエストも出ました。

第 7 回例会「図解技法」の学習 (9 月 19 日)

今回は、当会の会員である多部田氏 (2002 商学部卒) が、「日本図解学会代表理事」という事から、氏にお願いして「図解によるコミュニケーション術」と題して座談会方式による学習会を開催しました。

多部田氏は、教える側の思いと教わる側の思いには、必ずミスマッチが存在する。このミスマッチは図解を用いることで減らすことができるといいます。多部田氏は、出席者全員に「今、私に何を話して欲しいか？」と質問したあと、各人に応じた「図解技法」を説明され、図解技法がコミュニケーション改善に有用な事を学ぶことができました。参加者の皆さんからも好評な学習でした。

(参加者 11 名)



講演する多部田氏



寄 稿

一年生市議として 町田 浩文 (H19 政経)



本年 4 月に行われた大和市議会議員選挙に初当選しました町田浩文です。大和稲門会では副幹事長を務めております。

以前は地元で長くお世話になりました甘利明衆議院議員のもとで 10 年間、先般亡くなられた島村大参議院議員のもとで 2 年間秘書を務めておりました。

元来、目立ちたがりではなく、裏方でサポートする黒子役の方が性に合っているのですが、甘利代議士の選挙区が神奈川 20 区(相模原市南区・座間市)へ移ることとなり、地元でご支援いただいた皆様

とのつなぎ役が私自身の役割だと決意し立候補した次第です。

市議会においては大和稲門会先輩の渡辺申明議員とともに「自民党・新政クラブ」に所属し、また今回、私と同じく初当選した堀合研二郎議員、村田玲議員も大和稲門会会員です。古谷田力新市長も現在人間科学部に在籍されており、所属政党や立場が違えども大和市議会において早稲田閥が突然出来上がりました。

秘書として外から見ている議会と中で見る議会とでは見える世界が全く違い、戸惑うことばかりです。「この議論は本当に市民のためになっているのか？」など常に葛藤の日々を送っております。

6 月議会の一般質問では秘書時代から疑問に感

じていた「市長が語る大和市」について取り上げました。綾瀬市・海老名市・座間市では市長の市政報告会は自身の後援会が企画し、自費で開催し、実績のアピールなどは【政治活動】として行われていましたが、大和市だけは市の予算を使い、市役所の職員が企画・運営を行う【広報活動】として行われておりました。この2つの線引きは難しいのですが、

市の予算を使って市長の政治活動に結びつきかねない疑念があるため指摘をしたところ、古谷田新市長は市主催で行うことはやめて、後援会活動として行うと明言されました。

今後も議員秘書として培った経験を生かして、稲門会所属の議員の皆さんと切磋琢磨して市政発展に努めてまいります。

慶應義塾高校-夏の甲子園優勝に寄せて 遠藤三紀夫 (S55 教育学部卒)

今年の夏の甲子園では、慶應義塾高校が107年ぶりの優勝。あらためてその快挙に深く感動しました。

我が家族は親子で早慶戦の間柄。私と家内は早大教育学部同級生、今年38歳になる息子夫婦は慶大出身同士。しかも息子は“野球漬け”だった生粋の慶應ボーイで、大会期間中矢も楯もたまらず決勝戦を含め2度甲子園へ行きました。学生時代の先輩後輩と喜びを分かち合い、至福の時を味わっていました。

森林監督の下で結実した“エンジョイベースボール”。大会優勝で応援のあり様も含め多くの議論が飛び交いましたが、その実質を知る一人として私はよくぞ貫き通してくださったと、深く共感しています。

普通部から野球漬けの息子は塾高に進学し、当時の上田誠監督に出会い、ここで人生の糧となる大きな経験を積む機会を与えていただきました。それは新入部員達を束ねる「新人監督」のお役を頂いたことです。この年2003年は、塾高が推薦入学制度により新入生を受け入れた最初の年で、40名弱の新入部員のうち、確か5～6名がその制

度により入学しています。推薦による彼らとて9教科の内申書評点は合計45点中38点をクリアし面接等を経て合格といういわば文武両道を求められた狭き門突破者。その彼らには将来の主力を期待される一方、一般入試の野球部員達は、その殆どが下積みで部活を全うするという厳しい現実です。息子は、部内融和のチームワークづくりを任されるという重い任務でした。

夏の県大会終了までの僅か4か月ばかりの間でしたが、新人監督の息子と40名近い新入部員との間では、交換ノートで日々の心情の吐露とそれへのアドバイスが交わされていました。実はその最終回の分のコピーを私は宝物として持っています。推薦入学の後輩達には「決して驕ることなく裏方のチームメイトに対する感謝を忘れるな」と強く諭し、多くの一般部員達には「自分たちは慶大に進学し、やがて社会の中核を担うであろう中で、将来この下積みの経験こそ部下や後輩を束ねるリーダーシップに結び付くことを信じて頑張れ」と。

息子は大学進学後も塾高の学生コーチとして4年間、慶應野球漬けの生活を送りました。

2021 東京五輪にボランティア参加して 田中政弘 (S46 商学卒)

2021東京オリンピックはコロナ禍で1年遅れて開催されました。私のボランティア参加の動機としては、父が1936年(昭和11年)のベルリンオリンピックに走り高跳びで出場し6位入賞を果たしました。当時日本記録保持者であり世界2位の記録を持っていた父はメダル候補でしたので残念な結果におりましたが、この父の影響で、私は「是非オリンピックの雰囲気味わいたい」と思うようになり、ボランティアに応募しました。

応募者は20万人に達し、面接で志望動機やボランティア経験等が尋ねられ、その結果、8万人(最終的には4万人に減少)が採用され、私は運よくその中

に入り、リモートや現場研修の後、配属先が決まりました。

私の担当はプロトコール(要人接客係)で、活動場所は調布の味の素スタジアム。ここでは7月21日から男女サッカー・男女ラグビー・男女近代5種の競技が行われ。プロトコールの仕事は要人を会場玄関前で迎え、席に着くまでの案内と要望を聞くことでした。

要人には、自国選手応援のため各国元首や各国駐日大使、大会関係者、それにバッハ会長を始めとするIOC関係者、丸川大臣や橋本担当大臣をはじめとするJOC関係者等があり、入れ替わり立ち代わり来場

しました。

記憶に残る要人は、「モナコ国王」と「IOC バッハ会長」です。モナコ国王アルベール二世は一人で来場され（日本の SP はいましたが）、私にも気軽に声をかけられ大変に気さくな方で、あのハリウッド大女優のグレースケリーの息子さんかと感激しました。

バッハ会長はオリンピック前には色々と非難され、私も印象は良くありませんでした。閉会式前日（8 月 7 日）の近代 5 種の表彰式に来場され、我々プロトコール担当 23 名を集められ「皆さんの協力のおかげで大会が無事終了しました」と挨拶され、一人一人に大会記念バッジを渡しながらかつタッチをされ、最後に一緒に記念撮影を撮りました。このことでバッハ会長に対する印象ががらりと変わりました。

競技は休憩時間に観戦できました。7 月 22 日のサッカー日本戦では、久保選手のゴールを目の前で観戦でき、ラグビーでは女子の試合が印象的で、男子顔

負けのぶつかり合いは迫力がありました。

近代 5 種は、水泳・フェンシング・馬術・ランニング（3200m）をしながら射撃（レーザー銃）を行う競技で構成され、こんなに面白いスポーツなのかと改めて楽しめました。



バッハ会長とプロトコールの記念写真
バッハ会長の後方にいるのが筆者

☆☆ 新入会員のご紹介 ☆☆

2023 年 5 月～2023 年 9 月の期間に大和稲門会に入会された新入会員のプロフィールをご紹介します。



(1) プロフィール

氏名：上原慶子（73 歳）
出身学部：1972 年（昭和 47 年）東京教育大学 農学部卒
現住所：大和市中央林間

(2) 自己紹介

市内の中学校に勤務しておりましたが、現在は市民劇団演劇やまど塾で役者として活動しています。早稲田大学は親戚等出身者が多く、とても身近に感じていますし、今までもハイキング、詩吟、カラオケなど一緒に参加させていただいておりましたが、この度賛助会員として入会させていただきました。これからは皆さんと一緒に活動できたらと思います。大学時代はオーケストラ部、スキー同好会などに所属しておりましたが、今は健康維持のために歌を習っています。



(1) プロフィール

氏名：堀合研二郎（43 歳）
出身学部：社会科学部（平成 17 年）
現住所：大和市下鶴間

(2) 自己紹介

大和市にて市議会議員をしています。早稲田大学在学中に精神疾患を患い、紆余曲折を経た後「困っている人たちがより良い生活を送るための政治がしたい」と一念発起して今の仕事（政治）に取り組むようになりました。

大和稲門会の一員に加えていただき、嬉しいかぎりです。大和市は都心へのアクセスが良い、住みやすい町です。境川沿いを自転車で走って町田に行く、中央林間駅から東急田園都市線に乗って悠々と渋

谷に行く、さらには大和駅から小田急ロマンスカーに乗って新宿や霞ヶ関に行くという楽しみもあり、移動が好きな人にとってはこの上ない場所だと思います。こんな素敵な大和市をさらに素敵などころにするために、全力で働いていきます。



1) プロフィール

氏名：高橋 和明 (77歳)
 出身学部：文学部 西洋文学学科(昭和50年卒)
 文学研究科 (英語英文学科専攻) 平成2年終了
 現住所：大和市柳橋

(2) 自己紹介

大学卒業後神奈川県立高校の英語教師として長年勤務し現在退職
 英語が世界20億人に話されるようになったことに興味を抱き、勤務しながら文学研究科で研究、現在も研究を続けている。

先般「タウンニュース」で古谷田市長も大和稲門会に入会されていることを知り、当会に関心を持ち入会を申込みました。

会 計 便 り

会 計

(1) 年会費の納入のお願い

会員の皆様には日頃より大和稲門会に対して、ご支援ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。
 会員の皆様には10月より新たな年度【令和5年度】となりました。同封の「大和稲門会年会費納入のお願い」に、納入済み年度毎に氏名を記載しましたので、ご自分の納入状況をご確認の上納入下さい。
 未納入分につきましては速やかに納入戴きますようお願い致します。

- ・会費納入にあたりましては同封の郵便振込票をご利用ください。振込み手数料は当方で負担致します。
- ・銀行振込をご利用の方は下記口座に振込下さい(振込料は自己負担となります)。
 横浜銀行中央林間支店 普通預金 口座番号 1155943 口座名義人 早稲田大学大和稲門会
- ・会費納入についての問い合わせ 会計担当 児浦義文までご連絡ください
 電話番号 090-9333-4479 メールアドレス koura0114@jcom.home.ne.jp

(2) 寄付金の募集

同封の「大和稲門会会員の皆様への寄付金のお願い」に記載の通り、今後の当会の発展と活動活性化のため、会員の皆様に寄付金をお願い致します。

- ① 寄付金は1口5千円とし、任意の口数。但し、その他の金額(千円単位)でもお受けいたします。
- ② 募集期間は2023年10月～2024年3月末までです。
- ③ 寄付金の納入方法 同封の郵貯振込票をご利用下さい。年会費の振込と共用してお使い下さい。
 銀行振込の場合上記の年会費と同様の口座です。但し年会費と寄付金区別していただくためその旨をご記入下さい。

***** 「編集後記」 *****

この度稲門やまと48号を発行する運びとなりました。
 今号には7月の「2023夏季懇親会」の開催報告、3名の会員からの投稿文、3名の新入会員の自己紹介などを掲載しました。
 また、11月25日(土)に開催する総会及び懇親会は、今年は会場が変わり「レンブラントホテル東京町田」で行います。3年振りに来賓をご招待しての総会・懇親会となります。大学及び近隣稲門会の来賓を交えて、楽しい一時を過ごしたいと思います。
 大勢の会員の皆様のご参加をお待ちしております。 編集委員一同